

令和7年度 小・中連携研修会「武中グループ」研究のまとめ

令和7年度 会場校 武中学校小中連携係

1 小・中連携研修会の開催について

会場：鹿児島市立武中学校 日時：令和7年6月16日（月）

参加者：武中学校、田上小学校、武小学校の教職員

日程

13：30～13：45 受付（体育館前）

13：45～14：35 5校時 授業参観

14：45～15：00 全体会（体育館）

15：10～16：00 分科会（各教室）

2 令和7年度の分科会内容

- (1) 学習指導部会・・・公立高校入試を見据えた「確かな学力」の育成
- (2) 生徒指導部会・・・児童生徒の自己指導能力を高めるための課題と取り組み
- (3) 特別支援教育部会・・・児童生徒の卒業後の進路を見据えた課題と取り組み
- (4) 養護部会・・・児童生徒の健康・保健面の課題と取り組み

3 成果と課題

(1) 成果

ア 教科で情報交換を行い、共通実践事項を決定することができた。

イ 各教科で共通実践事項を決めるのはよかった。

ウ 生徒指導部会では、各校の校則について共有することができた。

エ 中学校の先生方と情報共有ができたことで、保護者向けの特別支援学級の見学や説明会の開催がスムーズに決まりよかった。子供たちの進路指導についても学ぶことができ、良い機会だった。

オ 直接お話しすることができたため、互いが気になっていたことや学校見学などの日程が明らかになり、武中学校について整理したり、見通しのある計画を立てたりすることができた。

カ 卒業生が頑張っている姿を見ることができたのは単純にうれしかった。

(2) 課題

ア 学習指導分科会では、資料は事前に配布し、各自読んだうえで、教科で話し合いをする形でもよいのではないか。

イ 教科で分科会を行うなら、各教科で共通のアンケートや学年の平均点など、各校で比較できるような資料があった方が話しやすいように感じた。（無理のない範囲で用意できる資料で）

ウ 共通実践事項を事前に係で協議し、案をいくつか準備しておいた方がよい。

4 次年度以降に向けて

小中連携研修の実施回数や内容等については、各学校の担当者が管理職、教務とも協議、確認した上で行うことを前提とし、更に意義深い研修になるように進めていきたい。